

事業計画(実施状況報告)書

記入例《月次報告時》

申請者(補助事業者)名	四日市港株式会社	事業名	継続事業(1年目)
輸送貨物の品目	化学薬品等	【任意】転換前の利用港 注1	●●港

注1) 複数記入可。

前年度 利用実績 (TEU)	4月	5月	6月	7月	8月	翌月10日までに、「今年度利用実績欄」の該当月に 四日市港で揚げ積みを行ったコンテナのTEU数を記入し、ご提出ください。 その際、輸出貨物であればB/L(Bill of Lading)、 輸入貨物であればA/N(Arrival Notice)を添付ください。					①	
	10	10	10	10								
今年度 利用見込み (TEU)	4月	5月	6月	7月	8月						②	
	30	30	30	30								360
今年度 利用実績 (TEU)	4月	5月	6月	7月	8月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 ③
	20	20	20	20								80
【任意】主たる物流拠点と 利用港の陸送距離 注2 単位:km	事業実施前の輸送距離					事業実施による輸送距離					短縮距離 ④	
	50					25					25	

注2) 事業実施前に複数の港を利用していた場合の「事業実施前の輸送距離」は、原則として、利用割合の最も多い港を利用したものと想定して記入して下さい。

利用見込みに基づく 増加量	②-①	240	TEU	利用実績に基づく 増加量	③-①	TEU	
利用見込みに基づく 補助申請額	(②-①) × 5,000円	1,200,000	円	利用実績に基づく 補助金請求額	(③-①) × 5,000円	円	
【任意】CO2排出量削減(抑制)予定量	(②-①) × コンテナ重量 × 短縮距離(④) × CO2排出量原単位 × 1/1,000,000 注3、注4					22.8	トン/年
【任意】CO2排出量削減(抑制)実績量	(③-①) × コンテナ重量 × 短縮距離(④) × CO2排出量原単位 × 1/1,000,000 注3、注4						トン/年

注3) 「コンテナ重量」は、「22t」として算出いたします。

注4) 「CO2排出量原単位」は、陸送(トラック)の利用を仮定し「173g-CO2/t/km」として算出いたします。

荷主企業名 注5	四日市港株式会社		

注5) 物流子会社にて申請を行う場合は、当該物流子会社を取り扱う関連会社の企業名を全てご記入ください。

船荷証券等に記載される ShipperまたはConsignee名 注6	YOKKAICHI PORT LIMITED		

注6) 商社を利用して輸出入される場合で、ShipperまたはConsignee名が当該商社名となる場合は、当該商社のShipperまたはConsignee名もご記入ください。